

新はつかいち

2020年1月号
 日本共産党
 廿日市委員会
 (37)0171
大畑美紀
植木京子

ひつじで悩まされるお気軽に相談を
日本共産党 無料法律相談
 毎月第2日曜 午後4時)
 西部地区事務所
37 - 0171

相談の予約は
大畑美紀
74-2310



憲法が生きる政治へ
 2020年
 宮島口元旦宣伝

条例改正

財産の処分

宮浜べにまんさくの湯

(株)A&Cへ売却

宮浜べにまんさくの湯(宮浜温泉二丁目8130-31)の健康増進施設としての設置管理条例を廃止し、観光温泉施設として、現在の指定管理者(株)A&Cに売却するものです。競争入札としなかったことについて市は「地元から、当社に移譲すべきとの嘆願書が出され、本市の観光施策と一致するものであり、本市の契約の指針に基づき総合的に判断し、随意契約とした」と説明。土地は5千㎡未満で財産の処分議決要件に該当しないため、建物部分のみの議案です。

鉄筋造かわらぶき2階建て
 床面積 1,033.93㎡
 処分価格 4510万6600円

関連で、一般会計補正予算として、建物売払収入とともに土地売払収入6726万6千円(2,228.17㎡)が計上されています。また、売却により補助金返還が必要となり、国庫補助金返還(平成21・26年度分)は293万1千円です。

意見書

意見書全文は市議会ホームページに掲載されています。

12月議会報告

12月3日~19日



大畑美紀議員

意見書2件可決

日米地位協定の抜本的改訂を求める意見書
 (全会一致で可決)

要旨

米軍岩国基地所属の戦闘機が、日常的に世界遺産宮島や廿日市市街地を飛行し、吉和地域では異常な低空飛行等の訓練が行われ、住民生活が大きく脅かされている。全国知事会は「米軍基地負担に関する提言」で日米地位協定の抜本的見直し、基地の整理・縮小・返還の促進などを求めている。

日米地位協定は50年もの間、一度も改訂されていない。全国知事会の提言を重く受け止め、日米地位協定の抜本的改訂に取り組むよう強く要望する。

同様の意見書可決は、全国知事会提言(2018年7月)以降、8道県183市町村に達しています(1月10日現在)。

主要農作物の種子を保全する新たな法整備や条例制定を求める意見書
 (賛成多数で可決)

要旨

主要農作物種子法は、平成30年4月1日をもって廃止され、法的根拠を失った都道府県では予算措置ができず、各地域の風土に合った品種の開発・保全をいづれ放棄してしまうことが心配される。

国民の食の権利と安全を守り、農業・農村の持続的発展を維持するために、新たな施策を次のとおり強く要望する。

- 1、国は公共財としての日本の主要農作物の種子を開発・保全・供給するための新たな法整備を行うこと。
- 2、広島県は、公共財としての主要農作物の種子を開発・保全・供給するための条例制定を行うこと。

・賛成22 反対4(隅田・大崎・細田・堀田議員)で可決

反対討論 細田議員(公明党) 法廃止の際、付帯決議されたように、財政支援など対策が講じられるため条例等は不要。

賛成討論 大畑議員 廃止に問題があるため付帯決議があった。財政措置には法や条例の裏付けが必要。現在11道府県が条例を制定している。

議員など特別職期末手当引き上げ

大畑美紀議員は反対

特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく一般職員の給与改定に準じて特別職(市議会議員・市長・副市長・教育長)の期末手当の支給割合を改定するものです。(6・12月それぞれ、0.25月分引き上げ)
 特別職報酬等審議会の27年答申に基づく(一般職員の改定に準ずる)との理由ですが、27年度以降、報酬や期末手当の引き上げがあり、議員は公務活動費も月額1万円増額されています。現行額で十分職責を果たせることから、大畑議員は条例に反対し討論を行いました。賛成多数で可決
 条例に反対したのは大畑・田中・藤田・高橋・栗栖・角田議員の6人です。

一般会計補正予算

主なもの

沿岸部再編運行準備負担金等 1390万円
 沿岸部のさくらバス・ハートバスのルート変更や原線新設による時刻表作成、バス停新設、車載機設置等。

保育園管理運営事業 8938万円
 公立保育園での受け入れ拡大による臨時保育士賃金追加7731万8千円、他市保育園の広域利用が見込みより上回ったことによる広域入所施設型給付費追加1136万3千円や管理運営費です。

私立保育園運営事業
 施設給付費追加 2億1437万4千円
 当初の予定人数を上回って受け入れをしたことや、公定価格増による追加。

債務負担行為 令和元~2年度
 津田小学校給食調理室ドライシステム改修 5100万円

吉和学校給食センタードライシステム改修
 改修工事請負費 7641万円
 施工管理業務委託料 391万円

2か所とも、工事は令和2年に夏休み期間を含めて行われ、夏休み前後の何日間かは弁当持参の予定。
 宮島口渋滞対策業務委託料(令和元年度分) 4000万円

宮島口旅客ターミナル施設付加機能部完成記念式典業務委託料(令和元年度分) 400万円



3月定例会は、2月25日(火)開会予定です。新年度予算が提案されます。本会議はインターネット配信されます。

大畑美紀議員の一般質問

新市長に基本姿勢を問う

憲法を市政に生かすこと

大畑 松本市長が掲げた「前市政の継承」とは、

市町村合併が市政と市民生活に与えた影響をどう見ているか。また、自治体戦略2040構想に対する見解を問う。

憲法を政治に生かすことについての見解、非核・平和の自治体をつくる努力について問う。

答弁 市長

自治体ランキングや市民アンケートでも高評価なのは歴代市長が将来を見据えた施策を迅速に講じてきた結果である。今後も前市長の思いを受け継ぎ発展に必要な施策にチャレンジしていきたい。まずは大ブロンエクト(新機能都市開発、地域医療拠点整備、宮島口整

備、篠津地区拠点整備)や宮島への法定外目的税導入検討に取り組みたい。

約束である合併建設計画の推進で一定の成果はあったと認識。自治体戦略2040構想は、全国市長会で自治体の意見も聞きながら慎重に時間をかけて進めるべき等の発言もあり、国や地方6団体の動向を注視していきたい。

地方公共団体は憲法が目指すものを具現化する役割を担っており憲法に則って市政に努めたい。平和は人類共通の普遍的な願いで、市政運営にも平和が基底にあり、これまでの取り組みを踏襲していく。核兵器は非人道的兵器で、絶対に使用されてはならず、存在も認められない。

教育について

教員の長時間労働 抜本的対策を

大畑

教員の長時間労働は依然として深刻だが、「1年単位の變形労働制」では問題解決にならず、むしろ長時間労働が固定化される。少人数学級実施、教員増、予算増など抜本的対策を。

答弁

少人数学級の実施等教員定数の改善はたいへん重要であり、今後も粘り強く国や県に要望していく。市教委では学校における働き方改革取組方針(31年3月策定)で長時間労働削減に向けた取り組みを進めている。

平成30年度 廿日市市立の学校で

- ・月80時間以上時間外労働があった教員 小学校 延べ192人 中学校 延べ549人
 - ・長期病欠教員 10人 うち精神疾患 8人
- 12月に「變形労働制」を盛り込んだ改正教職員給与特措法が成立。年単位の變形労働時間削減は繁忙期に勤務時間を増やした分、夏休み期間中に休日を増やすというものです。導入は自治体の判断によりですが、現場からは問題視する声が上がっています。

答弁 市長

市の要綱に抵触しないことから引き続き開催したい。

平成の大合併の問題点

日弁連の調査で、合併した周辺部の町村と、人口規模・産業構造が類似した非合併町村を比較した結果、調査47組の9割で、合併した旧町村の方が人口減少や高齢化が加速傾向にあることが判明。役場などがなくなり、公務員数減少、商店廃業、事業所閉鎖などが起き、地域が衰退したのが主な要因だとしています。

日弁連は自治体戦略2040構想研究会(総務省が設置)の報告に対し「平成の合併の検証のないまま、圏域の法制化のような地方の小規模町村の力を奪いかねない制度を作ることは問題である」等の意見書を出しています。

地域別人口増減(住民基本台帳による)

	2003年	2018年		増減率
吉和	839	661	178減	21.2%
佐伯	12,678	9,930	2,748減	21.7%
大野	26,660	29,013	2,353増	8.8%
宮島	2,109	1,621	488減	23.1%
廿日市	75,533	76,262	729増	0.96%
総数	117,819	117,487	332減	0.28%

佐伯総合スポーツ公園再整備

陸上競技場は残すべきだ

大畑

佐伯総合スポーツ公園再整備について開催されたワークショップでは、計画内容に疑問の声もあった。こうした市民意見を聴く機会は計画の初期段階で設けるべきではなかったか。今後の方針はどうか。

答弁

施設利用者へのアンケート、スポーツ団体指定管理者商工会への個別聴取などニーズ調査に努めてきた。ワークショップ(参加者延べ62名)で提案されたアイデアを企画運営するための協議の場を立ち上げる準備を進めている。ワークショップでの意見等は地域の方向に広くお知らせする。

大畑

案では、陸上競技場を多目的広場に変更し、サッカーコート2面可能にする方向だが、フィールド競技もできる総合グラウンドを失うことは市のスポーツ振興策に逆行する。サッカー場の必要性はあるため、サッカー場整備は別の場所を検討できないか。

答弁

陸上競技場は約6割以上がサッカー利用で、来園者増には需要の大きいサッカーコートを2面運用できる形の整備を検討。すでにサッカー専用競技場はあり、広大な適地もないことから別の場所での整備は想定していない。

スポーツ公園 駐車場



面等の再整備により、来園者増を図るとしているため、駐車場を少々広げても来園者が集中する日には駐車場不足がさらに深刻になるのではないのでしょうか。

現在、試合やイベント時には駐車場が不足(満車は年30日程度...市答弁)。市は「駐車台数確保が最大の課題」として「調整中」とのことですが、大型遊具、サッカーコート2

自衛隊とのコラボは 平和行政と相いれない

大畑

昨年と今年さくらびあで開催された陸上自衛隊音楽隊と市内中学校吹奏楽部のコラボレーション「自衛隊ふれあいコンサート」を廿日市市と市教委が後援しているが、経緯を問う。市民から抗議があったように、平和行政と相容れない、このような催しは中止を。

答弁

主催者から本市に企画が提示され、中学生にとって専門性の高い演奏技術に触れることができる貴重な経験となることから出演した。また、法律に基づいた公益社団法人が実施し、本市の教育、芸術、文化振興に寄与する目的の事業と判断し、後援をした。